



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 日鉄鉱業株式会社
 コード番号 1515 URL <http://www.nittetsukou.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部財務課長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 松本 六朗
 (氏名) 長田 光徳
 配当支払開始予定日

TEL 03-3216-5255
 平成25年11月25日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	53,555	8.6	4,913	11.4	4,551	15.4	3,063	39.2
25年3月期第2四半期	49,303	△2.3	4,408	39.1	3,943	33.4	2,200	29.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 8,519百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △508百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	36.79	—
25年3月期第2四半期	26.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	152,422	84,360	54.4
25年3月期	144,539	76,746	52.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 82,974百万円 25年3月期 75,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—	3.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	0.2	8,000	△7.5	7,500	3.7	3,000	△22.6	36.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	83,523,195 株	25年3月期	83,523,195 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	266,195 株	25年3月期	262,862 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	83,259,053 株	25年3月期2Q	83,266,110 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(添付資料)

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 2
3. 四半期連結財務諸表	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報)	P. 7
4. 補足情報	P. 8
売上高明細表	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要、政府による経済政策や日銀による金融緩和策を背景として、公共投資が増加するとともに、民間設備投資にも持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調をたどりました。

このような経済情勢のもと、当社グループにおきましては、鉱石部門の主力生産品である石灰石の増販や金属部門の増収により、売上高は535億5千5百万円(前年同期比8.6%増)と前年同期を上まわりました。

また、経常利益は45億5千1百万円(前年同期比15.4%増)、四半期純利益は30億6千3百万円(前年同期比39.2%増)とそれぞれ前年同期に比べ向上いたしました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[資源事業]

(鉱石部門)

鉱石部門につきましては、主力生産品である石灰石の販売数量が増加しましたことから、売上高は250億2千1百万円と前年同期に比べ15億8千4百万円(6.8%)増加し、営業利益は30億2千3百万円と前年同期に比べ4億5百万円(15.5%)増加いたしました。

(金属部門)

金属部門につきましては、電気銅の国内販売価格の上昇等により、売上高は221億2千万円と前年同期に比べ25億4千9百万円(13.0%)増加しましたものの、銅価の下落によるアタカマ銅鉱山の減益等により、営業利益は9億8千5百万円と前年同期に比べ5億9千5百万円(37.7%)減少いたしました。

[機械・環境事業]

機械・環境事業につきましては、環境部門の主力商品である水処理剤などの増販により、売上高は43億8千6百万円と前年同期に比べ9千9百万円(2.3%)増加しましたものの、機械部門の販売が振るわず、営業利益は3億6千4百万円と前年同期に比べ8千9百万円(19.8%)減少いたしました。

[不動産事業]

不動産事業につきましては、新規賃貸物件の稼働により、売上高は13億3千3百万円と前年同期に比べ4千4百万円(3.4%)増加しましたものの、修繕費の増加により、営業利益は6億3千5百万円と前年同期に比べ4千4百万円(6.6%)減少いたしました。

[再生可能エネルギー事業]

当社はかねてより、資源事業の一環として、地熱事業や子会社における水力発電など、環境保護に配慮したエネルギー開発に取り組んでまいりましたが、太陽光発電施設の新規稼働を機に、新たに「再生可能エネルギー事業」として区分することとしました。

なお、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は6億9千3百万円、営業利益は1億7千7百万円となりました。

(注) 再生可能エネルギー事業につきましては、従来、[資源事業](鉱石部門)に含めておりましたが、当第2四半期連結累計期間より、再生可能エネルギー事業を同部門と区分して記載しております。なお、同部門における前年同期との比較につきましては、新セグメントに組み替えた後の数値を使用しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の部の合計は、前連結会計年度末に比べ78億8千2百万円(5.5%)増加し、1,524億2千2百万円となりました。

流動資産につきましては、金属在庫の減少等により、前連結会計年度末に比べ3億5千8百万円(0.6%)減少し、635億2千6百万円となりました。

固定資産につきましては、保有株式の時価上昇に伴う投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ82億4千1百万円(10.2%)増加し、888億9千6百万円となりました。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の部の合計は、前連結会計年度末に比べ2億6千9百万円(0.4%)増加し、680億6千2百万円となりました。

流動負債につきましては、買掛金及び短期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ105億5百万円(27.2%)減少し、281億6千万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ107億7千4百万円(37.0%)増加し、399億1百万円となりました。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部の合計は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ76億1千3百万円(9.9%)増加し、843億6千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績見込につきましては、平成25年11月5日に業績予想の修正を公表しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(会計上の見積りの変更)

連結子会社であるアタカマ・コーザン鉱山特約会社が保有する有形固定資産及び無形固定資産は、採掘可能年数に基づいて減価償却を行っておりますが、探鉱活動の結果、既採掘地域の周辺に賦存する鉱量が判明し、新たに可採鉱量に算入したことから、主要な設備の耐用年数を延長し、第2四半期連結会計期間より将来にわたり変更しております。また、チリ国の鉱業令が規定する鉱山の閉山計画に基づく閉山費用として計上していた資産除去債務についても、償却に係る合理的な期間を延長し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の減価償却費等が75百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,672	19,423
受取手形及び売掛金	23,157	22,907
有価証券	30	30
商品及び製品	4,848	3,595
仕掛品	10,282	9,345
原材料及び貯蔵品	1,327	1,404
その他	8,001	6,992
貸倒引当金	△435	△173
流動資産合計	63,884	63,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,044	22,505
一般用地	14,520	14,551
その他(純額)	9,895	11,272
有形固定資産合計	47,460	48,330
無形固定資産		
	2,384	2,629
投資その他の資産		
投資有価証券	26,213	33,336
その他	4,777	5,024
貸倒引当金	△182	△423
投資その他の資産合計	30,809	37,936
固定資産合計	80,654	88,896
資産合計	144,539	152,422
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,247	9,192
短期借入金	14,070	8,041
未払法人税等	1,739	989
引当金	795	774
資産除去債務	170	169
その他	10,641	8,993
流動負債合計	38,665	28,160
固定負債		
長期借入金	9,195	17,818
引当金	1,680	1,754
資産除去債務	2,996	3,051
その他	15,255	17,277
固定負債合計	29,127	39,901
負債合計	67,793	68,062

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	6,149	6,149
利益剰余金	57,169	59,941
自己株式	△129	△130
株主資本合計	67,366	70,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,311	13,133
繰延ヘッジ損益	△134	82
為替換算調整勘定	△1,270	△378
その他の包括利益累計額合計	7,906	12,837
少数株主持分	1,472	1,385
純資産合計	76,746	84,360
負債純資産合計	144,539	152,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	49,303	53,555
売上原価	36,464	39,711
売上総利益	12,839	13,843
販売費及び一般管理費	8,430	8,930
営業利益	4,408	4,913
営業外収益		
受取利息	45	31
受取配当金	227	313
その他	90	103
営業外収益合計	363	449
営業外費用		
支払利息	238	214
持分法による投資損失	110	33
為替差損	141	157
その他	339	404
営業外費用合計	829	810
経常利益	3,943	4,551
特別利益		
固定資産売却益	39	203
その他	1	—
特別利益合計	41	203
特別損失		
固定資産除売却損	89	34
減損損失	0	—
訴訟関連損失	38	11
その他	38	6
特別損失合計	167	52
税金等調整前四半期純利益	3,817	4,702
法人税、住民税及び事業税	1,142	1,242
法人税等調整額	42	98
法人税等合計	1,184	1,340
少数株主損益調整前四半期純利益	2,632	3,361
少数株主利益	432	298
四半期純利益	2,200	3,063

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,632	3,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,094	3,822
繰延ヘッジ損益	△180	216
為替換算調整勘定	134	1,118
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△3,141	5,157
四半期包括利益	△508	8,519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△964	7,994
少数株主に係る四半期包括利益	455	525

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鉱石 (百万円)	金属 (百万円)	機械・環境 (百万円)	不動産 (百万円)	再生可能 エネルギー (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	23,437	19,570	4,287	1,289	718	49,303	-	49,303
セグメント間の内部 売上高又は振替高	583	-	522	17	-	1,123	△ 1,123	-
計	24,020	19,570	4,810	1,306	718	50,426	△ 1,123	49,303
セグメント利益	2,617	1,580	454	680	370	5,703	△ 1,294	4,408

(注)1. セグメント利益の調整額△1,294百万円には、内部取引の相殺消去額32百万円、貸倒引当金の調整額△1百万円、未実現損益の消去額△354百万円、報告セグメントに配分していない全社費用△970百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、試験研究費及び探鉱費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鉱石 (百万円)	金属 (百万円)	機械・環境 (百万円)	不動産 (百万円)	再生可能 エネルギー (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	25,021	22,120	4,386	1,333	693	53,555	-	53,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	228	-	676	17	-	922	△ 922	-
計	25,250	22,120	5,062	1,351	693	54,478	△ 922	53,555
セグメント利益	3,023	985	364	635	177	5,185	△ 271	4,913

(注)1. セグメント利益の調整額△271百万円には、内部取引の相殺消去額33百万円、貸倒引当金の調整額△0百万円、未実現損益の消去額607百万円、報告セグメントに配分していない全社費用△912百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、試験研究費及び探鉱費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

地熱蒸気及び熱水の供給・販売等の「再生可能エネルギー事業」については、従来「鉱石部門」に含めておりましたが、太陽光発電施設の新規稼働を機に、当第2四半期連結会計期間より「鉱石部門」と「再生可能エネルギー事業」を区分して記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4. 補足情報

売上高明細表

(連結グループ)

(単位:百万円)

セグメント	主要品目	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減(△)
		売上高	比率(%)	売上高	比率(%)	売上高
資源事業						
鉱石部門	石灰石・タンカル	12,930	26.2	13,364	25.0	433
	砕石	2,313	4.7	2,732	5.1	419
	燃料その他	8,193	16.6	8,924	16.7	730
	小計	23,437	47.5	25,021	46.8	1,584
金属部門	電気銅	13,847	28.1	15,950	29.8	2,102
	銅精鉱	2,093	4.2	2,419	4.5	326
	その他	3,629	7.4	3,750	7.0	121
	小計	19,570	39.7	22,120	41.3	2,549
	計	43,007	87.2	47,141	88.1	4,134
機械・環境事業	産業機械	2,052	4.2	1,960	3.7	△ 91
	環境商品	2,234	4.5	2,425	4.5	190
	計	4,287	8.7	4,386	8.2	99
不動産事業		1,289	2.6	1,333	2.5	44
再生可能エネルギー事業		718	1.5	693	1.2	△ 25
	合計	49,303	100.0	53,555	100.0	4,252

海外売上高

(単位:百万円)

品目	向先	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
石灰石	台湾、オーストラリア、香港ほか	1,287	1,465
電気銅	台湾、マレーシアほか	2,896	2,430
銅精鉱	チリ	2,093	2,419
産業機械	中国ほか	144	158
環境商品	台湾	2	2
	合計	6,424	6,476

(日鉄鉱業単体)

(単位:百万円)

セグメント	主要品目	前第2四半期累計期間			当第2四半期累計期間			増減(△)		
		数量	売上高	比率(%)	数量	売上高	比率(%)	数量	売上高	
資源事業										
鉱石部門	石灰石	千t	10,487	10,681	25.4	11,196	11,433	24.8	709	751
	砕石	千t	1,512	1,186	2.8	1,564	1,258	2.7	51	71
	タンカル	千t	326	1,854	4.4	314	1,793	3.9	△ 11	△ 60
	けい石	千t	115	195	0.5	114	193	0.4	△ 1	△ 1
	石油製品	千kl	33	2,269	5.4	36	2,744	5.9	2	475
	石炭類	千t	82	1,378	3.2	72	1,207	2.6	△ 10	△ 170
	パルプ用チップ	千m ³	38	352	0.8	39	341	0.7	1	△ 11
	特殊紙	t	942	260	0.6	914	253	0.6	△ 27	△ 6
	その他			2,341	5.6		2,233	4.8		△ 107
	小計			20,518	48.7		21,458	46.4		939
金属部門	電気銅	t	21,914	13,847	32.8	22,253	15,950	34.6	339	2,102
	電気金	kg	764	3,191	7.6	765	3,307	7.2	0	115
	その他			437	1.0		443	1.0		5
	小計			17,477	41.4		19,701	42.8		2,223
	計			37,995	90.1		41,159	89.2		3,163
機械・環境事業	機械			503	1.2		426	0.9		△ 77
	環境			1,922	4.6		2,001	4.3		79
	その他環境商品			412	1.0		528	1.2		115
	小計			2,334	5.6		2,529	5.5		195
	計			2,838	6.8		2,956	6.4		117
不動産事業				1,293	3.1		1,338	2.9		44
再生可能エネルギー事業		千MWh	-	-	-	99	677	1.5	99	677
	合計			42,128	100.0		46,131	100.0		4,003

※売上高はセグメント間内部取引消去前の金額で記載しております。